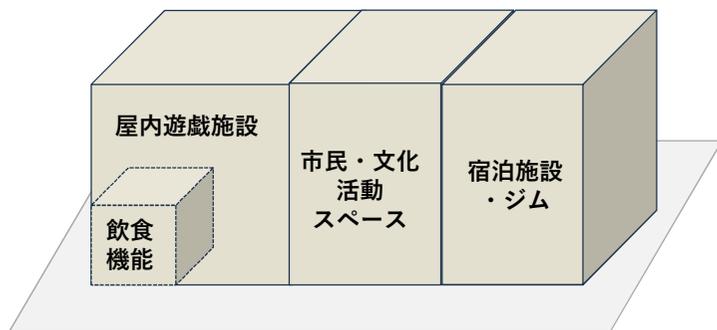


(4) 【STEP2：公共用地との連携】庁舎跡地の利活用について

➤ 事業者へのヒアリング結果等を踏まえ、可能性のある導入機能は以下が考えられます。

■有力案

▼導入機能



<導入機能>

飲食機能、屋内遊戯施設、市民・文化活動スペース、宿泊施設・ジム 等

▼配置イメージ



■参考事例

▼市民・文化活動スペース事例



▼宿泊機能事例



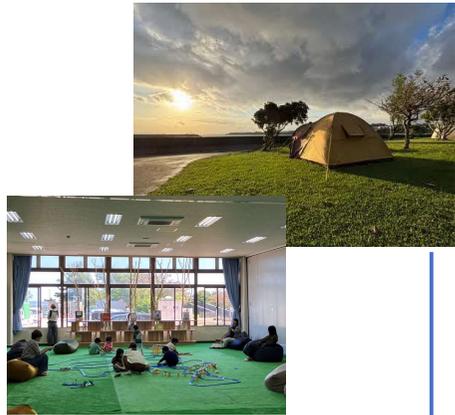
▼温浴機能事例



(5) 石川地域の回遊性向上について

▶ 石川地域の回遊性向上について、ウォーカブル（居心地や良く歩きたくなるまちなか形成）実証に向け、以下の通り整理しました。

▼概要



トライアル実証イベント2024

★エリア内の有効活用

- 体育館会議室：子供の遊び場
- 公園・ビーチ・園内：キャンプ事業

トライアル実証イベント2026

★エリア内外の連携検証

- トライル実証イベントの一環として市道活用検証

石川地域
まちづくり
推進計画

道路空間の
有効活用検証

ウォーカブル推進都市（沖縄唯一認定都市！！）



トライアル実証イベント2025

★エリア外との周遊検証

- 石川公園から市民の森へモビリティによる回遊性検証事業

▼ウォーカブル化検討エリア



▼ウォーカブル検証（トライアル検証イベント）イメージ



▼ウォーカブル導入後のイメージ



5. 今後の事業方針



(1) 全体のスケジュール

R8年度 指定管理範囲拡大実施

R8年度 P-PFI公募準備

R9年度 P-PFI公募

→令和11年度 供用開始

STEP2 : R10~11年度 庁舎跡地事業公募 令和14年度 供用開始

STEP3 : STEP2の状況を見ながら実施 (※先行の可能性含)

STEP 0 : 指定管理範囲の見直し



人の集まる仕組みづくり、民間投資を誘発するエリアの価値向上

- 都市公園・公共施設用地の一体的な運用 (植栽・雑草管理 / 清掃 / 駐車場運営 等)
- 親水空間及び過多となった植栽の撤去による環境整備

【事業手法】

- ・ 指定管理範囲の見直し

STEP 1 : 都市公園の環境整備



都市公園の魅力向上、滞留・回遊の拠点形成

- 公園全体の賑わい創出 (管理棟・公衆トイレの整備)
- 利用頻度や滞留時間向上へ向けた収益事業の実施 (トライアル実証イベント、まちなかのウォーカブル実施 等)

【事業手法】

- ・ P-PFI又は設置管理許可による飲食・サービス機能の展開

今はここ！

STEP 2 : 公共用地との連携



向上した魅力を活かした、民間投資の誘発とエリアの価値向上

- 既存建物の活用やリノベーション、新規施設整備による機能導入

【事業手法】

- ・ 新規施設：事業用定期借地 (機能は民間提案制度活用)
- ・ 既存施設の解体撤去：市 (庁舎 / 会館 / 保健センター)

STEP 3 : ふ頭用地との連携



ふ頭用地も含めたエリア全体の活用と、石川地域全体への波及

- ふ頭用地を含む対象地一体が連携した集客の仕組みづくり (漁港連携イベント / 商品開発 / 住居・宿泊開発 / 拠点プール 等)
- 石川ビーチや金武湾を活用した地域ブランディング (マリーナ整備 等)

【事業手法】

- ・ 多様な関係者が連携したエリアマネジメントの実施

6. イメージパース



▼全体鳥瞰図

